

名城公園（北園）營業施設等 事業提案

審 査 講 評

平成28年4月18日
名城公園（北園）評価委員会議

1 経過

(1) 評価委員会議開催

区分	年月日	内容
第1回評価委員会議	平成27年12月10日	① 現地視察 ② 概要説明 ③ 評価基準と審査方法について 場所：西庁舎12階第17会議室 午後1:30~3:30
第2回評価委員会議	平成28年3月29日	① 審査 形式審査 信用審査(説明) ② 意見交換 ③ 質疑事項確認 場所：西庁舎12階第18会議室 午後1:30~3:30
第3回評価委員会議	平成28年4月18日	① プレゼンテーション ② 審査 計画審査 信用審査 価額審査 ③ 最優秀提案の選定 場所：西庁舎12階第18会議室 正午~午後4:30

2 審査結果

(1) 提案書の受付

平成28年1月12日から募集要項の配布を開始し、8社から応募登録があった。
平成28年3月14日~16日に提案書の受付を行った結果、最終的に3つの応募者から提案があった。(以下受付順に記載)

●提案A

応募グループ	
【代表法人】 中部土木株式会社	【代表法人以外の構成員】 岩間造園株式会社 株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所

●提案B

応募法人
株式会社アリス

●提案C

応募グループ	
【代表法人】 株式会社新東通信	【代表法人以外の構成員】 共友リース株式会社 日本プロパティマネジメント株式会社 有限会社デザインクラブ EMW 株式会社ブロンコビリー 蔦井株式会社

(2) 提案審査の結果

資格及び提案条件等について審査を行った。

① 形式審査の結果

審査の結果を事務局より報告し、評価委員会議において審議した結果、資格及び提案条件等の要件について、全ての応募者が適格であると確認した。

② プレゼンテーション

上記審査において、適格であると確認された提案者に対し、第3回評価委員会議において、提案内容についてのプレゼンテーションを実施した。

実施日：平成28年4月18日（月）

会場：名古屋市役所西庁舎12階第18会議室

実施状況：プレゼンテーション：25分、質疑応答：約30分

③ 審査の結果

審査項目		配点	提案A	提案B	提案C
			審査点※1		
計画審査	全体計画	50点	42	28	38
	設置計画	125点	105	70	90
	運営計画	100点	80	58	68
	管理計画	100点	82	64	76
信用審査	信用力	50点	48	28	42
価額審査	使用料	50点	36	44	30
	還元策	25点	20	20	21
合計得点		500点	413	312	365
順位点※2			15	5	10

※1 審査点は、委員5名の合計点

※2 順位点は審査員ごとに評価が高い順に3点、2点、1点と配分し、全審査員を合計した点数を表示している。

④ 最優秀提案及び次点提案の選定

提出された提案書類及びプレゼンテーションを総合的に評価した結果、以下の応募者の提案を最優秀提案及び次点提案とした。

最優秀提案

【代表法人】 中部土木株式会社	【代表法人以外の構成員】 岩間造園株式会社 株式会社マウントフジアーキテクトスタジオ一級建築士事務所
--------------------	--

次点提案

【代表法人】 株式会社新東通信	【代表法人以外の構成員】 共友リース株式会社 日本プロパティマネジメント株式会社 有限会社デザインクラブ EMW 株式会社broncoビリー 蔦井株式会社
--------------------	--

(3) 総評

本評価委員会において最優秀提案及び次点提案の提案について、以下のような評価を行い、要望を付した。

最優秀提案「名城コミュニティサポートパーク」

公園利用者とともに育みながら、成長していく名城公園という全体コンセプトの下、「食」「体」「集」「緑」をバランスよく取り入れた提案である。

石垣ゲートなど名古屋城のイメージに即したエントランスなど、大津通からの景観に配慮されており、ウッドデッキの階段やテラスなど、公園の新しいランドマークとなることが期待できる。

また、備蓄倉庫や太陽光発電による蓄電など、災害時における運営計画も高く評価した。

<評価>

【全体計画】

- ・コンセプトがわかりやすい。
- ・幅広い世代の公園利用者を対象にしている。
- ・公園と一体感があり、自然を楽しめる。
- ・緑と建築の景観的一体感、大津通からの景観、入口（エントランス）からの景観といった導入空間が良い。

【施設計画】

- ・観覧席にもなりうる幅の広い階段（なごやか階段）の利用による賑わいづくりや多様なイベントが実施可能であり、憩いのスペースとしての効用が高い。
- ・既存樹木もうまく取り入れており、自然豊かな環境の中で時間を過ごすことができる。
- ・ウッドデッキ（城見テラス）が公園の新しいランドマークとなることが期待できる。

【運営計画】

- ・災害時の運営計画が具体的であり、高く評価できる。
- ・施設の店舗内容やイベントへの考え方が良い。

<主な要望>

【全体計画】

- ・集客を積極的に行うためのイベント企画と実施体制を整えること。
- ・魅力的な店舗を誘致すること。
- ・より幅広い世代が親しみやすい施設名称にすること。

【施設計画】

- ・2階の店舗部分にトイレを設置すること。
- ・各施設の安全対策に十分配慮すること。(屋外照明、手摺の設置、雨天時のウッドデッキ及びテラス部分、石垣ゲート)
- ・提案時に示されたテナントのクオリティを維持すること。

【運営計画】

- ・雨天時、猛暑日における集客対策を実施すること。

【管理計画】

- ・継続的に樹木を管理すること。

次点提案「Tanoshimo」

「遊びでたのしも。食べてたのしも。癒してたのしも。」というコンセプトを基に、集客が期待できるボーンランド・プレイヴィルという屋内型子ども遊戯施設やランナーに配慮したランニングステーションの設置などの施設計画を高く評価した。混雑時の対応や、雨天への配慮など管理運営計画についても高く評価した。

<評価>

【全体計画】

- ・公園にボーンランド・プレイヴィルという新しい子供向け機能の導入が提案され、子育て世代には嬉しい施設である。
- ・Tanoshimoのコンセプトは簡潔でわかりやすい。

【施設計画】

- ・屋内施設もあるので、雨の日でも暑い日でも遊ぶことができる。
- ・ボーンランド・プレイヴィルは、東海地方に初進出であり、集客が期待できる。

【信用力】

- ・売り上げが安定している。

<主な要望>

【全体計画】

- ・提案施設利用者以外の一般公園利用者に対して十分配慮すること。
- ・大津通や名城公園から提案施設への動線計画を改善すること。

【施設計画】

- ・ ボーネルンド・プレイヴィル内のトイレ及び授乳室を適切に設置すること。

【運営計画】

- ・ 営業施設内で来場者の行動が完結することなく、公園のにぎわいにつながっていくような運営をすること。
- ・ 子供たちが遊んでいる時に、親世代や祖父母世代が休憩しながら見ていられるような運営及び施設配置をすること。
- ・ コンテンツの充実や施設のリニューアルなど、常に施設の魅力維持に努めること。